

JETRO STARTUP NEWS 2021 年月 12 号

ジェトロ・アフリカ事務所発

【1】 スタートアップニュース	1
アルジェリア	1
チュニジア	1
モロッコ	2
エジプト	2
エチオピア	3
ケニア	5
ナイジェリア	5
コートジボワール・セネガル	6
【2】 TIPS- 2021 年アフリカのスタートアップ投資とユニコーン企業	9
【3】 さらなる情報をお求めの方へ！	10
◆東アフリカニュース	10
◆ジェトロ『中東アフリカ News』	11
◆スタートアップニュースバックナンバー.....	11

【著作権・免責】

「JETRO STARTUP NEWS」の著作権はジェトロに帰属します。本文の内容の無断での転載、再配信、掲示板への掲載等はお断り致します。ジェトロはご提供する情報をできる限り正確にするよう努力しておりますが、提供した情報等の正確性の確認・採否は皆様の責任と判断で行なってください。本文を通じて皆様に提供した情報の利用（本文中からリンクされている Web サイトの利用を含みます）により、不利益を被る事態が生じたとしても、ジェトロはその責任を負いかねます。

【問合せ先】最寄りの以下、ジェトロ・アフリカ事務所までお願いします。

カイロ事務所（エジプト）、ラバト事務所（モロッコ）、アディスアベバ事務所（エチオピア）、ナイロビ事務所（ケニア）、ラゴス事務所（ナイジェリア）、アビジャン事務所（コートジボワール）、ヨハネスブルク事務所（南アフリカ共和国）

JETRO STARTUP NEWS 2021年12月

【1】スタートアップニュース

アフリカ各事務所が収集したスタートアップニュースを要約してお伝えします。

アルジェリア

報告：パリ事務所 グルニエ

○トータルエネルギー社は11月3日、アフリカ31か国を対象に「第3回スタートアップチャレンジ」のアルジェリア分をアルジェで開催。優勝者はSamia Khedim 創業者（IDEEOH社、オンライン診察予約アプリ「[Rendez-Vous Toubib](#)」）、Ahmed Ramy Mebrouk 創業者（リサイクル・プラットフォーム「[Nrecycli](#)」）、Madjda Rahal 創業者（サイトやアプリデザイン、Webマーケティング「[Shiftin Agency](#)」）の3名。※参考：[11月4日付L'Expression](#)

○知識経済・スタートアップ省所管アクセラレーター「Algeria Venture」は11月11日、ファーウェイ・アルジェリア社と共催で「ICTチャレンジ」の決勝戦を開催。85のスタートアップが予選に参加し、10社が決勝戦に参加。優勝したスタートアップ「AITECH」社（創業者：Mabrouk Laib）は土地生産性を上昇するアグリテック・プラットフォームを展開。2位はレストラン・宿泊予約のオンライン旅行代理店 [Tahwissa.dz](#)（創業者：Farouk Boufedjline）、3位は化学農薬や肥料の使用減少に取り組んでいるアグリテック・スタートアップ BIOFERTEC。※参考：[11月19日付APS通信](#)

○ウアリッド知識経済・スタートアップ特命担当相は11月9日、現時点でスタートアップ認定の申請手続きを行い、認定を取得したスタートアップ数は700社を超えたと発表。また、国内の民間インキュベータ数は半年で14から42に増加。※参考：[11月10日付APS通信](#)

○ウアリッド知識経済・スタートアップ特命担当相は11月29日、認定を取得したスタートアップを対象に、特許申請に係る手数料全額を補助する仕組みを準備していると発表。※参考：[11月29日付APS通信](#)

チュニジア

報告：パリ事務所 渡辺

○チュニジア北西部のジャンドゥーバ県にあるスタートアップ4社は11月5日、国立公園や自然が豊富な地域から生まれた製品やサービスを保護し、クローズアップすることを目的とした「ワイルド・チュニジア」ラベルの認証を取得。森林における蜂蜜作りを専門とするアグロマティカ、エッセンシャルオイルの抽出を専門とするテュナロマとノバロマ、メルレーラ歩道のハイキングを企画するダーエルアインが認証を受けた4社。※参考：11月5日 RTCI

○通信技術省は11月23日、スタートアップ法に戻って10月の選考会で23社が新たにスタートアップ・ラベルを獲得したと発表。2019年4月の第一回選考以来、合計で607社が同レベルを取得したことになる。※参考：11月23日 WebManagerCenter

○チュニジア発のビデオゲーム「ワーシュマロ（Warshmallows）」が任天堂スイッチに登場。チュニジアのデヴェロッパー「デジタル・マニア」がビデオゲーム出版のボーナス・ステージと提携して、すでにPC上で発売されている同ゲームが2022年1月から任天堂スイッチショップで発

売開始となると発表。チュニジアで開発されたビデオゲームでは初めての快挙。マシュマロの戦争ゲームだ。デジタル・マニアは5国籍のインターナショナルなスタッフで構成される。同ゲームはスウェーデンのゲームコンテスト「ノルディック・ゲーム」で観客賞を獲得している。

※参考：12月4日 ilBoursa

○E コマースのチュニジアスタートアップ「カミウン」がパンアフリカン投資ファンドの仏ジャンゴ・キャピタルが主導する投資ラウンドで40万ドルを調達することに成功した。シードファンドのアナヴァ・シード・ファンド (Flat6labs ファンド)、エンジェル投資家のネットワークであるダカール・ネットワーク・エンジェルズ、および複数のビジネス・エンジェルがこの資金調達に参加した。カミウンは生産者と小売り業者を繋ぐE コマース企業で、創設者のファレス・ベルギット氏はジュミアでケニアとナイジェリアのオペレーションを担当し、その後チュニジア・カルフルのE コマース部長として経験を積み、起業している。※参考：12月14日 ilBoursa

○法律・法務関連の2つのサイト「Juridoc.tn」と「Qanouni.tn」が合体し、チュニジア最大のリーガルテックサイト「Juritech」を立ち上げた。弁護士、公認会計士、監査人、法律家等の法律関連の職業人を対象とした100%デジタルの情報源を提供する。※12月14日 ilBoursa

モロッコ

報告：ラバト事務所 本田

○アフリカ中小企業及びスタートアップのエネルギープロジェクト支援を目的とする、フランス電力会社(EDF)主催 EDF Pulse Africa へ参加するモロッコ代表として BMTA&C が選ばれた。BMTA&C は、農作物の冷却機能を持たない農家が農産物を冷蔵保管し作物廃棄を回避できるよう、ソーラーパネルによる冷却システムを開発した。※参考：11月10日 Challenge

○日用消費財(FMCG = Fast Moving Consumer Goods)を取り扱う小売業者と卸業者をつなぐe コマースのプラットフォーム Sle3ti が、この度モロッコ大手 Richbond グループの投資ファンドから1200万ディリハム(約1億4900万円)の融資を受ける事となった。この金額は国内企業からスタートアップへの融資金額としてはこれまでの最高金額となる。※参考：11月12日 LesEco

エジプト

報告：カイロ事務所 執筆・Reem 編集・井澤

○2020年起業の家具EC「[Homzmart](#)」は、シリーズAでの1,500万ドルの資金調達により、サウジアラビアに進出すると発表した。同社は過去10カ月で事業規模が3倍になった。

○2021年起業の「20分以内の食料品配達サービス」を提供する「[Rabbit](#)」は、1,100万ドルを調達した。「Global Founders Capital」、「Foundation Ventures」、「Raed Ventures」、「MSA Captial」と「Goodwater Capital」から出資を受けた。同業種のエジプト発 Breakfast は先月に約20分の配達サービスを始めた。外資系の Talabat は約30分で食料品を配達している。共同創設者兼CEOはもともと Talabat で勤務していた

○2020年起業のEd-Tech(教育関連スタートアップ)の「[Educatly](#)」は、100万ドルのプレシード資金を調達した。世界中の高等教育のプログラムが検索可能なデータベースで提供されており、既に190カ国で10万人の利用者がいるという。

○2018年起業の複数のフィンテックサービスを提供する「[Raseedi](#)」は、プレ・シリーズAで85

万ドルを調達した。より安い電話料金・通信・光熱費の支払い、貯蓄、後払い等の複数サービスについて、スマホアプリを通して提供する。

○2019年起業の家具 EC「[Efreshli](#)」は、55万ドルのシードラウンドを調達した。同社は多様な家具を検索でき、手ごろな価格で、オンライン購入できるプラットフォームを展開する。

○2015年起業のオンライン英会話サービス「[OTO Courses](#)」は、より多くの利用者を獲得するため、「EdVentures」から40万ドルを調達した。英会話オンライン個人レッスンに特化する。訓練された150人以上の教師により、これまで1万5千人以上にサービスを提供した。

○2021年起業のフィンテック「[Hollydesk](#)」は、海外への拡大を推進するために、32万ドルのプレ・シード資金を調達した。3,000件以上の、MSEs（中小零細企業）と雇用者向けに、経費管理スマホアプリを提供する。

○2016年起業のスキルアップ・職業訓練サービスを提供する「[Career180](#)」は、利用者獲得強化のために、「EdVentures」から20万ドルを調達した。同社は、若者向けに職業スキル向上のためのカウンセリング、ワークショップ、トレーニング等を提供する。

○2019年起業で、SaaSのクラウドベースの産業用検査管理ソフトウェアを提供する「[beXel](#)」は、サウジアラビアや他のGCC諸国に拡大するために、数十万ドルの資金を調達した。建設、石油、エネルギー分野で、デジタル化により、検査時間を6割程度削減することを可能にするという。

○2017年起業の運転補助アプリ「[BlinkApp](#)」は、野心的な事業拡大のため、数十万ドルのプレ・シード資金調達ラウンドを調達した。スマホのセンサーを活用して、運転手の行動認知、衝撃の検出などのデータ収集・AI分析により、顧客に事故防止情報などを提供する。

○2021年起業の後払いサービス「[Sympl](#)」は、本格的な事業開始段階に入り、エジプトの大手VCで有力フィンテックに投資実績のある「A15」から資金を調達した（金額非公開）。

○2021年起業の個人間の送金アプリ等のフィンテック「[KIWE](#)」は、成長を促進するために初期投資を調達した。

○2014年起業のエジプトの住居維持関連プラットフォーム「[FilKhedma](#)」は、「Cairo Angels」から資金を調達した。

○2021年起業で、ナイルデルタ地域で廃品回収するスタートアップ「[Plstka](#)」は、事業拡大のために、「[Alexandria Angels Network](#)」と「[Hivos](#)」からシード資金を確保した。利用者はスマホアプリを通して、廃品回収の協力により割引クーポンを入手できる。

○2017年起業の物流スタートアップ「[Bosta](#)」は、今年5月に資金を調達しており、来年UAEとサウジアラビアに拡大する計画を発表した。現在、1日2万件の配達をしており、2022年には1日あたり10万件の配達を目指す。

上記記事の参考：<https://disrupt-africa.com/?s=egypt>、<https://www.menabytes.com/?s=egypt>

エチオピア

報告：アディスアベバ事務所 関

○ダーシェン銀行が海外で利用可能なデビットカードの発行を開始。提携カード会社はアメックスで口座残高の10%相当の外貨決済が可能（※参考：Capital紙11月7日p5）。Thunesと提携した同行は、11月11日付で国際送金受領サービスを開始。同行の携帯送金システムAmoleを使って受

領でき、85%が即時決済となるなど、サービスも迅速化（※参考：Cappital 紙 11 月 14 日 p10）。

○革新技術省が 10 月 4 日から 100 日間の作業目標に「スタートアップ法（Startup Business Proclamation）」の法制化を組み込んだ。法案は雇用創出委員会や投資委員会、司法長官事務所などと議論を重ね、起業家の資金制約の解消を目指すもの。起業家は、借入に必要な担保に乏しく、資本金 20 万ドルの受け入れも容易ではない。イノベーション基金も設置され、政府予算からも拠出して事前登録された起業家に資金供給をする。2 年間の非課税措置や企業登録前の事務所賃貸契約の免除なども盛り込まれる。※参考：Reporter 紙 11 月 20 日 p6

○エチオテレコムが 11 月 20 日付で中央銀行から携帯送金サービス「テレブル」での国際送金受領サービスの認可を受けた。送金利用にあたって入金額の 5%を上乗せするキャンペーンも開始。入金受領額に応じて顧客を 3 段階にわけることで一日たりの引出上限額も 5,000 ブルから 5 万ブルへと引き上がる。テレブル利用登録者は 950 万人で 10 億ブル以上の送金利用がある。代理店数は 2 万 6,442 軒、提携銀行は 9 行。※参考：Capital 紙 11 月 21 日 p1

○銀行間決済システムなどを提供する EthSwitch は 2011 年に設立。2020 年に黒字化（利益 2,430 万ブル）し、2021 年も黒字見込み。出資者である金融機関は利益を再投資しており、配当金を受け取っていない。国内唯一の銀行間接続サービスの提供会社として 2016 年に ATM 銀行間相互接続の提供を開始し、2020 年に POS 端末の相互接続、数週間前に携帯送金の相互接続の提供を始めたところ。携帯送金の相互接続で異なる銀行に紐づく個人間の携帯送金も可能になる。市中銀行 16 行が独自に決済基盤を整えるよりも外貨節約的（節約額 3 億 2,000 万ドルから 6 億 2,000 万ドル）。銀行にとっては、地方での店舗維持よりも電子決済基盤への投資の方が資金負担は少ない。決済の銀行間相互接続の利用増加率は年間 45%で、多くは ATM 利用によるもの。ATM からの現金引出額は 10 月に 450 万件あり 47 億ブルだった（※参考：Reporter 紙 11 月 20 日 p12）。同社は電子決済システムの拡張を図る。ビル&メリンダゲイツ財団から 834 万ドル、アフリカ開発銀行から 233 万ドルの支援を受ける。拡張経費は、総額 1,500 万ドル（※参考：Fortune 紙 11 月 21 日 p6）。

○エチオテレコムのテレブルの利用累計額は 20 億ブル。その多くは、通信料の入金と個人間送金。商品購入での利用頻度は少ない。お財布携帯サービスなどを含む各種の携帯資金口座は 2,500 万口座。この内、テレブルが 1,120 万口座、エチオピア商業銀行が 540 万口座で圧倒的。2020 年の開設済み携帯資金口座は 700 万口座であり、急激に伸びている。エチオピア商業銀行の携帯利用送金サービスは 10 月の利用額は 440 億ブルで前年同月から倍増。※参考：Fortune 紙 11 月 21 日 p8

○アディスアベバ商工会議所によれば、国内の電子決済サービス提供事業者は 35 社あまり。電子商取引が普及しないのは、供給側（輸入業者、卸・小売り業など）が利用に積極的でないため、法的枠組みの欠如から課税の取扱いなどが明確でないことが理由（※参考：Reporter 紙 11 月 27 日 p15）。電子決済サービス基盤などを開発する「Chapa Financial Technology」は、サービス開発から約 5 年経過。この間、政府の関連規則の未整備が利用を妨げており機会損失。社会的影響を生むプロジェクトに 20%の時間を費やすことにしており、グレートルネッサンスダムへの寄付サイト「MyGerd.com」や在外エチオピア人庁と共同で寄付を募る「Eyezon Ethiopia」の開発などに貢献。紛争の影響を受けた学校再建のためのプロジェクト「Ke Das Wode Class」にも取り組む（※参考：Reporter 紙 11 月 27 日 p17）。

ケニア

報告：ナイロビ事務所 久保

○ケニアの農業テック Twiga がプライベート・エクイティファームの Creadev をリード投資家とし、TLcom や IFC、DOB、既存投資家から追加の 55.6 億 Ksh を調達。東部および西部アフリカへのビジネス展開に活用する。ルワンダなど東部アフリカへの展開は 2020 年から計画していた。※参考：[11月2日 Business Daily](#)

○エコ・フレンドリーなエンジンへの代替を目指すオピバスが、シリコンバレーファンドなどから 500 万米ドルのエクイティ、250 万米ドルのグラントを調達。2022 年からケニアで、バイクとバス向け電動エンジンの生産を開始する。同様に、2021 年初旬に 90 万米ドルを資金調達していた BasiGo が、ナイロビでオペレーションを開始する（※参考：[11月5日 Business Daily 紙](#)、[Disrupt Africa](#)）。また、ルワンダを拠点とする電動バイク開発の Ampersand Rwanda Ltd は、ルワンダとケニアにおける事業拡大のため、アメリカ国際開発金融公社（USDFC）から 900 万ドルの資金調達（デッド）を行った。DFC の電気モビリティに対する融資は初であり、アフリカで台頭する同セクターへの投資家の信頼の高まりを意味する。同社はキガリで電動バイクの組み立てと資金調達を行なっているが、今回の融資により 2022 年末までにルワンダとケニアの電動バイク数を数千台に拡大することができる（※参考：[11月2日 IG](#)）。

○ルワンダは Google と共同声明を発表。イノベーション・エコシステムの成長のために必要な国家のデジタル・トランスフォーメーションを加速させる。提携分野としては、手頃でユニバーサルな接続へのアクセス、デジタルプラットフォームの採用、全ての人々がデジタルスキルを持つこと等が含まれ、一例として Google はルワンダの若者のデジタルリテラシー向上のためのプログラム立ち上げをサポートする（※参考：[17日 NT](#)）。

ナイジェリア

報告：ラゴス事務所 馬場

○中小企業向けのオンラインローンを提供する [Payhippo](#) は、シードラウンドにて 300 万ドルを調達した。同社は現在までに 5000 件の融資を行い、2021 年 9 月には、90 万ドルの融資から 6 万 4000 ドルの収益を上げ、毎月 25 パーセントの成長と 97 パーセントの返済率を達成した。このラウンドは、Ham Serunjogi と Maijid Moujaled（Chipper Cash の共同創業者）、Olugbenga "GB" Agboola（Flutterwave の共同創業者）、Bolaji Balogun（Chapel Hill Denham の CEO）および Hakeem Belo-Osagie（Matis Capital Partners 創業者）が中心になって行われた。今回の資金調達により、エンジニアやデータサイエンティストをより多く雇用し、技術の向上と融資サービスの充実を目指す。※参考：[Disrupt Africa 11月3日](#)

○Wi-Fi シェアリングスタートアップ [Wicrypt](#) が 150 万ドルの資金を調達し、マーケティング活動を強化することで国外進出を目指す。Wicrypt は分散型のモバイルインターネット共有・収益化ネットワークで、誰でも Wi-Fi を共有することで報酬を得ることができる。このラウンドは AU21 Capital が主導し、Polygon の創設者 Sandeep Nailwal、Cardano の Occam、Inclusion Capital、Outlier Ventures、Chain Capital、Pluto Digital Assets、Onega Ventures、N7 Labs、PolkaFoundary が参加した。※参考：[Disrupt Africa 11月8日](#)

○電子医療記録・電子健康記録を提供する [Helium Health](#) は、カタールとアラブ首長国連邦 (UAE) で医師予約プラットフォームを展開する [Meddy](#) を買収し、アフリカ国外に進出した。この買収により、[Helium Health](#) と [Meddy](#) の地域性・機能が統合される。※参考：Disrupt Africa 11 月 8 日

○ヘルスケアスタートアップ [DrugStoc](#) は、サハラ以南のアフリカの医療従事者に持続可能なサプライチェーン・ファイナンスを提供しながら、質の高い医薬品へのアクセスを拡大するために、シリーズ A 資金として 440 万ドルを調達した。今回のラウンドは AAIC が主導し、Vested World とドイツ投資開発会社 (DEG) 等が参加している。※参考：Disrupt Africa 11 月 16 日

○モビリティ・スタートアップ [Shuttlers](#) は、160 万ドルのシードラウンドを調達し、アフリカの各都市で事業を拡大する計画を共有した。同社は、通勤者が選択したルートを手頃な料金で快適に移動できるようにし、固定ルートでの移動は他のライドヘイリングサービスよりも最大 80% 安くなる。これまで 500 万回以上利用されている。今回のラウンドは、VestedWorld が主導し、Interswitch、Rising Tide Africa、Launch Africa Ventures、EchoVC Partners、CMC 21、Alsa、ShEquity、Five35、Consonance、CcHub Syndicate、Sakore、Nikky Tarus が参加した。※参考：Disrupt Africa 11 月 16 日

○小規模企業向けの財務管理アプリを提供する [Kippa](#) は、アプリの拡張を目指し、320 万ドルのプレシード資金を調達した。Kippa を利用した商店は、債権回収が 3 倍早くなり、事業の存続に不可欠なキャッシュフローを確保できる。また、売上や経費の記録、請求書や領収書の作成、在庫の管理、ビジネス全体の利益の把握も可能。このラウンドは Target Global が主導し、Entrée Capital、Alter Global、Rally Cap Ventures や著名なエンジェル投資家が参加した。※参考：Disrupt Africa 11 月 19 日

○シェアモビリティ・スタートアップの [Treepz](#) は、280 万ドルのシードラウンドを調達し、バス会社 Ugabus の買収によりウガンダに進出した。2019 年に設立され、9 月のリブランドまで Plentywaka として知られていた Treepz は、乗客が固定ルートに沿って毎日の乗り物を予約できるデジタルプラットフォームを運営している。また、ナイジェリアの 21 都市でバス旅行会社のアグリゲーターとして機能し、交通事業者が手作業のサービスや発券をデジタル化された提供品やサービスに置き換えることを可能にしている。今回のラウンドには、日系 VC の Uncovered Fund、ドバイの VC である Blanford Capital と Jonomi Capital、エジプトを拠点とするファンド Jedar Capital 等が参加した。※参考：Disrupt Africa 11 月 16 日

○暗号通貨取引所 [Busha](#) は、アフリカ全域で規模を拡大するため、420 万ドルのシード資金を調達した。このラウンドは Jump Capital が主導し、Cadenza Ventures、Blockwall Capital、CMT Digital、Greenhouse Capital、Raba Capital 等が参加した。今回の資金調達により、より迅速な業務遂行とセキュリティの向上が可能となる。※参考：Disrupt Africa 11 月 24 日

○インフォーマル・ビジネスを対象とした B2B マーケットプレイス [Sabi](#) が 600 万ドルのブリッジラウンドを調達し、ケニアに進出した。このラウンドには CRE Venture Capital が主導し、Janngo Capital、Atlantica Ventures、Waarde Capital などの投資家も参加した。※参考：Disrupt Africa 11 月 26 日

コートジボワール・セネガル

報告：アビジャン事務所 渡辺、安藤（コーディネーター）

○*TotalEnergies は、第3回「StartupperChallenge」コンテストの公募を開始した。募集対象は、持続可能な開発の課題に対応する革新的なソリューションを提供する3年未満のスタートアップで、受賞者は賞金のほか、トレーニングプログラムなどのサポートを受ける。※参考：11月2日 abidjan.net

○配送スタートアップの Nundi は10月、通販プラットフォーム CoinAfrique と提携し、コートジボワール全国各地に迅速で、信頼性の高い配達サービスを展開する。Nundi は、配送管理プラットフォームや配送ルートの最適化技術、フルフィルメントなどを通じ、ラストワンマイル配送を効率化し、競争力のある価格で顧客に配送サービスを提供する。※参考：11月12日 Nundi

○セネガル通信市場のリーダーである Orange は、米国発のスタートアップ Wave の台頭により、モバイルマネーの手数料の大幅値下げを余儀なくされ、結果的にライバルよりも安価になった。仏系の Orange Finances Mobiles Senegal 社のサール社長は、11月23日、新しい料金を発表し、今後、引出しは無料、送金については Wave 社が送金額の1%であるのに対し、0.8%に引き下げられ、アフリカ大陸で最も低い料金となる。同社は料金引き下げにとどまらず、引出し、送金に QR コードの利用を拡大し、スマートフォンを持たない顧客のために QR コードの付いたカードが導入された。更に、マリ、コートジボワール、ブルキナファソ、ギニアビサウへの送金は1.5%で、引出し手数料は無料となった。※参考：11月25日 AITN

○2020年創立のアフリカの車両管理を専門とし、ガーナ、コートジボワールにも展開しているセネガルのスタートアップ Fleeti 社は、Newfund、Groupe Clim、SkalePark、Janngo、Mapinvest 及び Business Angels から110万ユーロ以上の資金を調達した。この資金により、ソリューションの技術開発を加速し、新しい市場に参入することが期待される。同社は燃料消費を抑え、フリートのパフォーマンスを改善することを目指している。2021年の BaskInvest 等様々なコンクールで賞を獲得している同社の技術は、統合されたセンサーと SaaS ソフトウェアを組み合わせしており、データの収集と分析を簡素化し、企業が運用のための明確な KPI を簡単に取得することができるものである。※参考：11月27日 AITN

○統計調査データプラットフォーム「thebigdeal.substack」によると、2021年のアフリカのスタートアップによる10万ドル以上の資金調達は11月現在、754件、総額40億ドルとなった。このうちナイジェリア14億ドル、南アフリカ8.38億ドル、エジプト5.88億ドル、ケニア3.78億ドルの4カ国で8割を占めている。次いでセネガルが2.22億ドルとなり、このうち WAVE による2億ドルにのぼる資金調達が9割を占めた。※参考：12月1日 Agence Ecofin

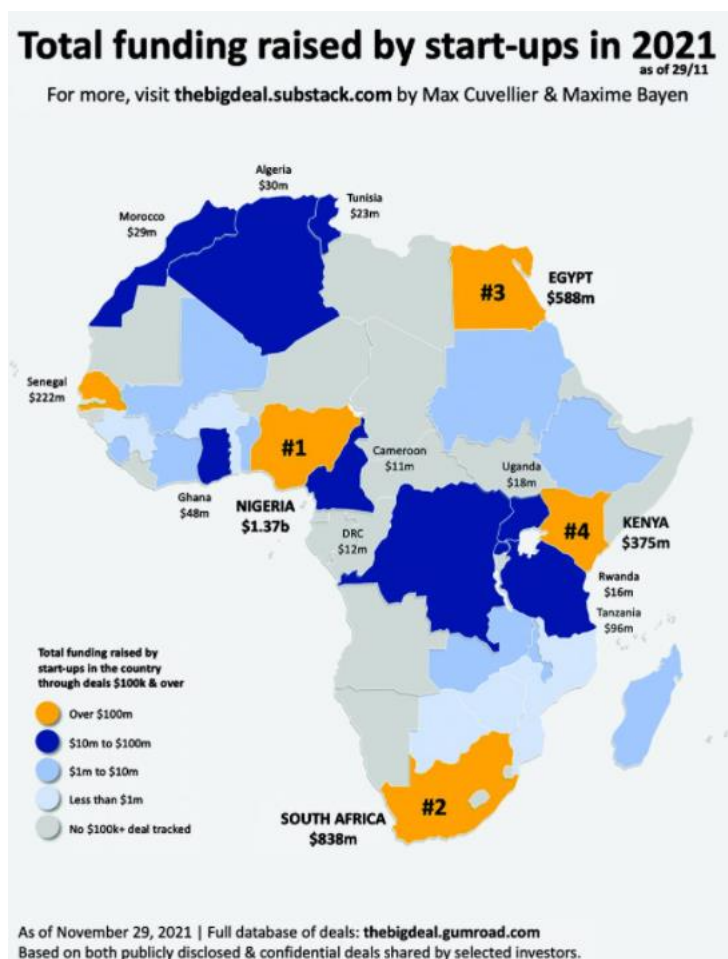
○シンガポール発配車サービスのスタートアップ GOZEM はこのほど、AAIC、Thunes (TransferTo)、Momentum Ventures (SMRT)、Innoport Ventures (Schulte Group)、CMC Ventures (National Express) を中心とする投資家コンソーシアムから500万ドルの資金を調達した。GOZEM はこれまでに、異なる段階の資金調達ラウンドで700万ドルを調達し、トーゴ、ベナン、ガボン、カメルーンで事業を展開している。今回の資金調達によりコンゴ民主共和国、セネガル、コートジボワールへの事業拡大を目指す。※参考：12月3日 Agence Ecofin

○フランス電力会社 (EDF) は、「EDF パルスアフリカイノベーションコンペティション」を立ち上げ、アフリカのエネルギー課題に対応し、経済発展に貢献するために、アフリカ大陸で最も有望

なスタートアップと中小企業を支援している。同プログラムの一環として、アフリカツアードで選出された 12 のスタートアップがパリで開催されたグランドファイナルに参加し、以下のスタートアップが受賞した。①Green Engineering Services (ブルキナファソ) : 再生可能エネルギーにより小麦粉を生産するソーラーミルソリューション、②My Energy Clever (カメルーン) : スマートフォンを通じたデジタルリモート管理ソリューション、③BMTA&C (モロッコ) : 僻地の孤立した小規模農家に対するポストハーベストロスを減らすための冷却ユニットの提供、④Green Agro Valley CI (コートジボワール) : 農村地域におけるソーラーポンプ導入による飲料水アクセス改善。受賞者は賞金のほか、EDF アクセラレータープログラムのサポートを受ける。EDF グループは、カメルーンの Boukarou、セネガルの Motion、ガーナの Impact Hub、トーゴの Energy Generation の 4 つのアフリカのインキュベーターと協力して、トレーニングプログラムを通じて EDF パルスアフリカの受賞者をサポートしている。※参考：12月6日 EDF

[2] TIPS- 2021年アフリカのスタートアップ投資とユニコーン企業

2021年のアフリカのスタートアップ資金調達額合計が、50億ドルに達する見込み¹とのニュースがありました。これは2018年の資金調達額11億6,300万ドル、2019年の20億2,000万ドル、2020年の14億3,000万ドルを上回っており²、2021年はアフリカのスタートアップ投資における記録的な1年となりました。



画像引用：[The Guardian \(The Big Deal\)](https://www.theguardian.com/technology/2021/nov/29/africa-startup-funding-2021) 12月8日

国別にみると、11月末時点でナイジェリアは13億7,000万ドル、南アフリカは8億3,800万ドル、エジプトは5億8,800万ドル、ケニアは3億7,500万ドルを調達しています。ナイジェリアは年間200件以上、他の3カ国はそれぞれ100件以上の投資件数を記録しています。その他、2億2,200万ドルを調達したセネガル、9,600万ドルのタンザニアが5・6位に挙げられています。特に、米国や中国の投資家や機関投資家からの関心の高まりが、調達額を引き上げました。

¹ [ブルームバーグ](https://www.bloombergvantage.com)、12月8日

² [パーテックパートナーズ](https://www.pwccapital.com)

分野としては、資金調達額のうち約 95.9%をフィンテックが占め、そのほかはエドテック、ヘルステック、コミュニケーションテックが調達額を集めました。

2021 年に調達額を集め、ユニコーン企業になったアフリカ発のスタートアップは以下の通りです。

企業名	ビジネスモデル	国	時期	資金調達/IPO	評価額
Flutterwave	決済サービス	ナイジェリア発 (本社米国)	5月	1億7000万ドル (シリーズC)	10億ドル
Swvl	ミニバス・バンのライドシェア	エジプト発 (本社 UAE)	7月	米国株式市場ナスダックへ上場	15億ドル
OPay	モバイルマネー	ナイジェリア	8月	4億ドルの資金調達 (シリーズC)	20億ドル
Wave	モバイルマネー	セネガル	9月	2億ドルの資金調達 (シリーズA)	17億ドル
Andela	ソフトウェア開発者の人材開発・マッチング	ナイジェリア発 (本社米国)	9月	2億ドルの資金調達 (シリーズE)	15億ドル
Chipper Cash	クロスボーダーの決済アプリ	米国	5月、 11月	合計2億5000万ドル の資金調達 (シリーズC)	20億ドル

(文章：ラゴス事務所・馬場)

(了)

【3】さらなる情報をお求めの方へ！

◆東アフリカニュース

発行：ナイロビ事務所（幹事）

頻度：月1回

「スタートアップニュース」（本誌）とともに、「東アフリカニュースダイジェスト」（主要紙クリッピング）、ジェトロビジネス短信や最新調査レポートを抽出してお届けします。無料のメルマガです。

○登録方法：こちらより登録ください。

<https://www.jetro.go.jp/form5/pub/ken/newsregistration>

◆ジェトロ『中東アフリカ News』

発行：東京本部海外調査部 中東アフリカ課

頻度：週1回

以下ウェブページ等で発信しております地域全体の新着ニュース・レポート等の新着情報を中心にお届けしています。

・ビジネス短信：アフリカ

<https://www.jetro.go.jp/biznewstop/biznews/africa/>

・調査レポート：アフリカ

<https://www.jetro.go.jp/reportstop/africa/reports/>

○登録方法：こちらより登録ください。

<https://www.jetro.go.jp/mreg2/magRegist/input.htm>

◆スタートアップニュースバックナンバー

2021 年

11月号 (36th issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2021/2111jetrostartupnews.pdf>

10月号 (35th issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2021/2110jetrostartupnews.pdf>

9月号 (34th issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2021/2109jetrostartupnews.pdf>

8月号 (33rd issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2021/2108jetrostartupnews.pdf>

7月号 (32nd issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2021/2107jetrostartupnews.pdf>

6月号 (31st issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2021/2106jetrostartupnews.pdf>

5月号 (30th issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2021/2105jetrostartupnews.pdf>

4月号 (29th issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2021/2104%20jetrostartupnews.pdf>

3月号 (28th issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2021/2103jetrostartupnews.pdf>

2月号 (27th issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2021/2102jetrostartupnews.pdf>

2020 年

12月号 (26th issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2020/2012jetrostartupnews.pdf>

11月号(25th issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2020/2011jetrostartupnews.pdf>

10月号(24th issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2020/2010jetrostartupnews.pdf>

9月号(23rd issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2020/2009jetrostartupnews.pdf>

8月号(22nd issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2020/2008jetrostartupnews.pdf>

7月号(21st issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2020/2007jetrostartupnews.pdf>

6月号(20th issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2020/2006jetrostartupnews.pdf>

5月号(19th issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2020/2005jetrostartupnews.pdf>

4月号(18th issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2020/2004jetrostartupnews.pdf>

3月号(17th issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2020/2003jetrostartupnews.pdf>

2月号(16th issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2020/2002jetrostartupnews.pdf>

1月号(15th issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2020/2001jetrostartupnews.pdf>

2019年

12月号(14th issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2019/1911jetrostartupnews.pdf>

11月号(13th issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2019/1911jetrostartupnews.pdf>

10月号(12th issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2019/1910jetrostartupnews.pdf>

9月号(11th issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2019/1909jetrostartupnews.pdf>

8月号(10th issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2019/1908jetrostartupnews.pdf>

7月号(9th issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2019/1907jetrostartupnews.pdf>

6月号(8th issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2019/1906jetrostartupnews.pdf>

5月号(7th issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2019/1905jetrostartupnews.pdf>

4月号(6th issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2019/1904jetrostartupnews.pdf>

3月号(5th issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2019/1903jetrostartupnews.pdf>

2月号(4th issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2019/1902jetrostartupnews.pdf>

1月号(3rd issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2019/1901jetrostartupnews.pdf>

2018年

12月号(2nd issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2019/1812jetrostartupnews.pdf>

11月号(1st issue)

<https://www5.jetro.go.jp/newsletter/nairobi/2019/1811jetrostartupnews.pdf>

※本誌へのご意見、ご要望がありましたら、ジェトロナイロビ事務所 (KEN@jetor.go.jp) へご連絡ください。